

北海道警察札幌方面小樽警察署及び財務省北海道財務局小樽出張所の協定の締結について

～犯罪や事故のない安心して暮らせる地域社会の実現のために～



北海道財務局小樽出張所

北海道内における被害の発生状況

今年1～4月の道内の特殊詐欺被害状況は118件、約5億3,900万円で、過去最悪を記録した前年同期(56件、約2億9,300万円)に比べ62件、約2億4,600万円それぞれ大幅に増加している。



協定の締結について

このような情勢を踏まえて、振り込み詐欺を始めとする特殊詐欺犯罪の被害発生防止に関する事項等について、更なる連携協力体制を強化するため、北海道警察札幌方面小樽警察署及び財務省北海道財務局小樽出張所において、平成27年5月29日(金)に協定の締結を行った。



<升田署長と岡田所長>

今後における具体的な取組みについて

- 今後、予定している具体的な取組みは以下のとおり
- (1) 双方で保有している特殊詐欺犯罪に関する情報提供及び意見交換
 - (2) 金融機関利用者に対する特殊詐欺犯罪の被害発生防止に係る各種講演等の広報啓発活動
 - (3) 金融機関利用者が特殊詐欺に巻き込まれないための環境整備
 - ① 金融機関に対する特殊詐欺防止に向けての積極的な取組みの要請
 - ② 関係機関(銀行協会、金融機関、総合振興局、地方公共団体等)との連絡会議の開催等



(写真提供:小樽ジャーナル)

道内主要市における高齢化率

被害に遭われた方の年齢層は、7割弱が65歳以上の高齢者である。

小樽市は、道内10万人以上の9市の中で、高齢化率が36.4%と最も高く、特に、そうした高齢者が狙われやすい地域性を有している。

